

あけぼの大豆



農林水産大臣登録第119号

生産地：山梨県南巨摩郡身延町

登録団体：身延町あけぼの大豆振興協議会



特性

大粒で甘みが強く、100年以上栽培されてきた大豆。10粒で6寸になるため、「十六寸（とうろくすん）」と呼ばれていたほど大粒で、糖類含有量が他品種に比べ2割多く、特に砂糖の主成分であるショ糖含有量は他品種に比べ4割多く含み、甘味が強い。未成熟大豆であるえだまめも大粒で、茹でたえだまめのショ糖の含有量も多く、甘みが強い。

地域との結び付き

えだまめの成熟期に当たる10月から大豆を収穫する12月頃までの10度以上の昼夜の寒暖差の大きさが、特性である甘みを生む。曙地区の生産業者は、他品種との交配を防ぐために、ほ場の分離などを徹底し、何世代にもわたり種子を選抜することで、「あけぼの大豆」の粒の大きさを維持してきた。